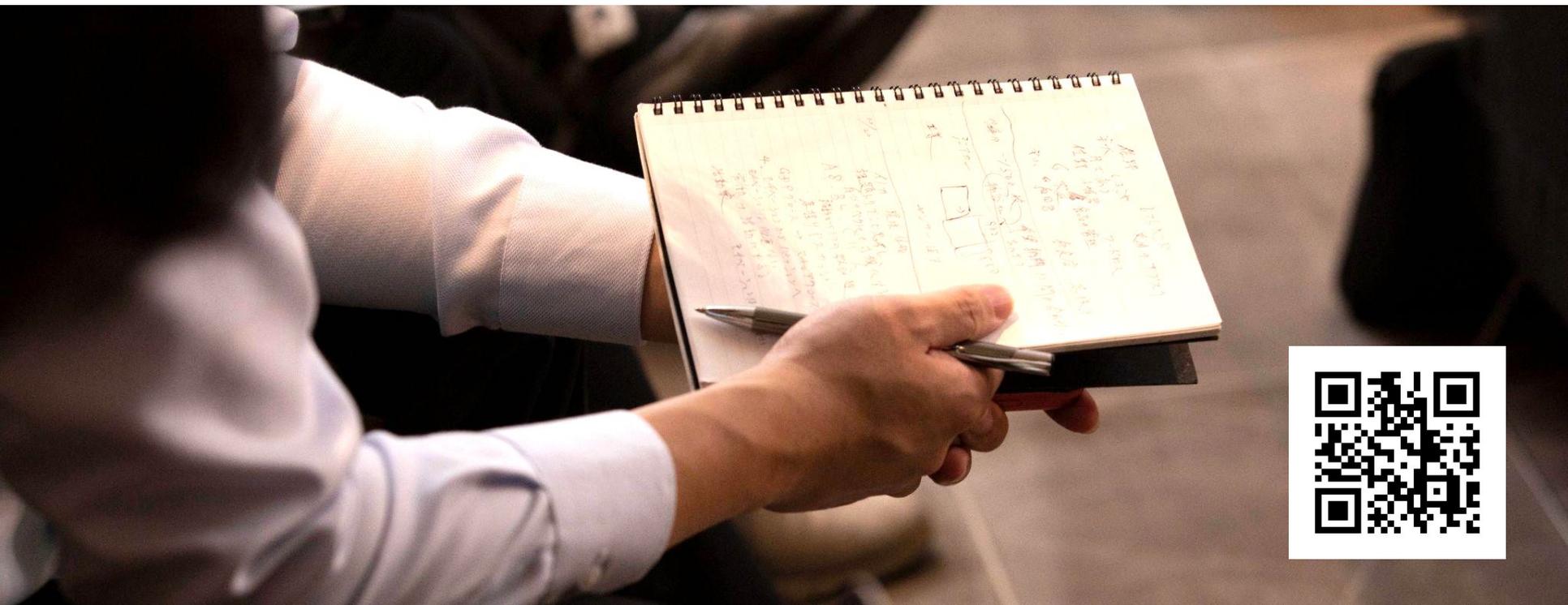


受講検討企業様向け 紹介資料

L UNIV. 未来を担うイノベーション人材を育成する リバネスユニバーシティー

主催：株式会社リバネス



設立の目的 | 「地球の持続的な発展のため」の人材育成の場を作る



地球貢献型リーダーを育成する

環境破壊、気候変動、あるいは経済格差など、世界には大規模かつ複雑な課題が山積しています。それらの原因をシンプルに表現することはできません。しかし、いずれの課題においても共通する要素が一つあります。それは「バランスが崩れている」ということです。つまり、いかにして「調和」を実現するか、が解決の鍵となります。

これからの時代には、組織の規模の大小や領域に関わらず、「異質なもの同士の分断をなくす」というスタンスが求められます。「ビジネスのために」「業界のために」「地域のために」といった視点から一旦距離を置き、あるいは「人類のために」という視点すら超えて、「地球のために」という極めて広い視野で物事を考える必要があるということです。そうした概念を習得し、広い視野を備えた地球貢献型リーダーを育成すること。それがリバネスユニバーシティの最終的な目的です。

特徴 | リバネスユニバーシティの4つの特徴

「地球の持続的な発展のため」の
人材育成の場を作る



地球貢献型リーダーを育成する

スキルアップ
ではなく
概念シフトを
起こす

「競争」から「共生」へ
「利益追求」から「地球貢献」へ

外の世界とつながり、自社の固定概念を変える人材が
100年後の当たり前をつくる—

「共生」思考で知識を組み合わせる
ブリッジコミュニケーション
の考え方を学ぶ

先生はいない
自ら実践して事を仕掛ける
ことで概念シフトを起こす

組織の枠を超え、
「地球貢献」を目的とした
テーマ創出

受講後も理念を持った企業とともに、
次の概念シフトを起こす
実践場をつくり続ける

育成する人材像 |

100年先の未来に思考を飛ばして「地球貢献」を本気で考え、実践しながら自分の価値観、マインド、行動を変化させていきます。

1.

「競争」から「共生」へ

2.

「利益追求」から「地球貢献」へ

3.

常識を捨て、自ら率先して変化する

4.

研究者的思考と経営者的思考の両方をもつ

5.

小さく細かく、多く。できるだけ早く試す

ボードメンバー | 研究開発と事業創出を熟知するメンバー



理事長
花井陳雄
リバネスキャピタル 取締役
元・協和キリン 取締役会長



副理事長
森安康雄
リバネスキャピタル 取締役
元ベネッセホールディングス
EdTech Lab部長



理事
丸幸弘
リバネス
代表取締役 グループCEO



理事
高橋修一郎
リバネス
代表取締役社長COO



理事
井上浄
リバネス
代表取締役社長CKO



アドバイザーボード
鈴木健吾
ユーグレナ
執行役員研究開発担当



アドバイザーボード
林田英樹
東京農工大学大学院
工学府産業技術専攻 教授



アドバイザーボード
瀬々潤
ヒューマノーム研究所
代表取締役社長



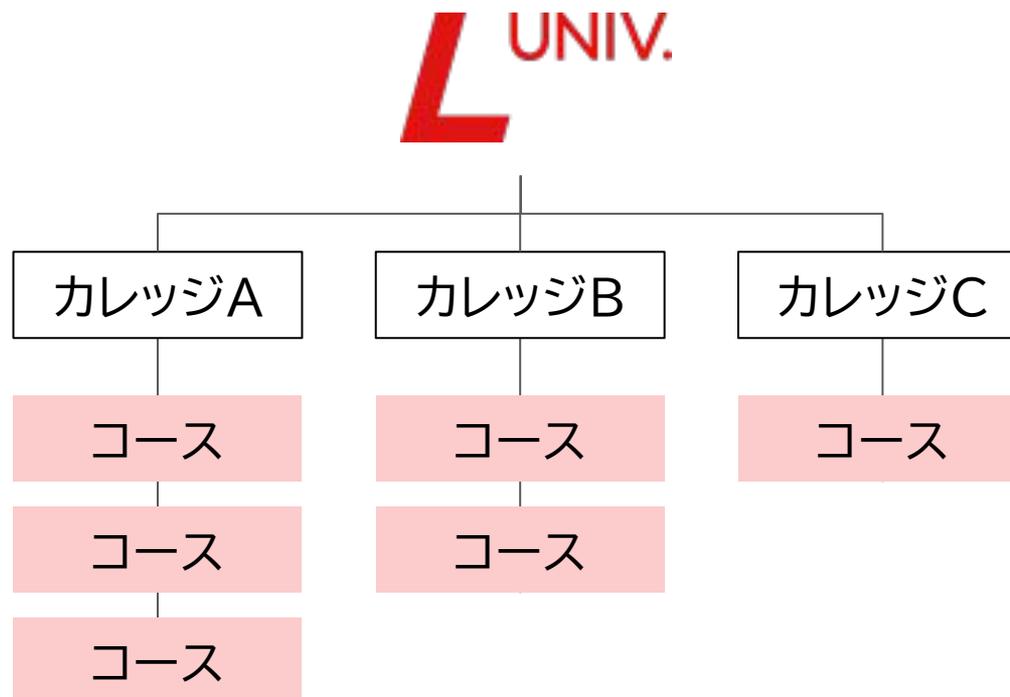
アドバイザーボード
山田拓司
メタジェン
取締役副社長CTO



アドバイザーボード
宇井吉美
aba 代表取締役

特徴 | 多様な企業と連携した「カレッジ」制

リバネスユニバーシティーが全体のビジョン、カリキュラム策定、運営を統括し、各カレッジが個別コースを提供する形です。核となるカリキュラムと「地球貢献型リーダーの育成」という共通のゴールをベースとして、そこに各カレッジ主催企業のアセットを組み合わせることによって、多様性のある学びを実現します。



対象者 | 「変化」を目指すあらゆる世代、業界のリーダー・リーダー候補者

リバネスユニバーシティは、「受講生が自ら思考し、実践し、成長する」ことを達成します。また、「課題解決への挑戦」という共通項をもつ異業種・異分野の受講生と共に学ぶことで、多様な視点やアプローチに触れ、自らの思考を加速度的に深化させることが可能です。

大手企業の新事業創出担当者・シニア人材

大企業向け

固まった思考をほぐし、
徹底的に「やってみる」。

中堅企業の経営者・金融機関

中小企業向け

異分野連携力を鍛え、
自社の次の挑戦を創る。

共に学び
新しいコトを
起こす

ベンチャー企業の「社員」

ベンチャー向け

「コトを仕掛け、やり切る」
叩き上げ幹部を育てる。

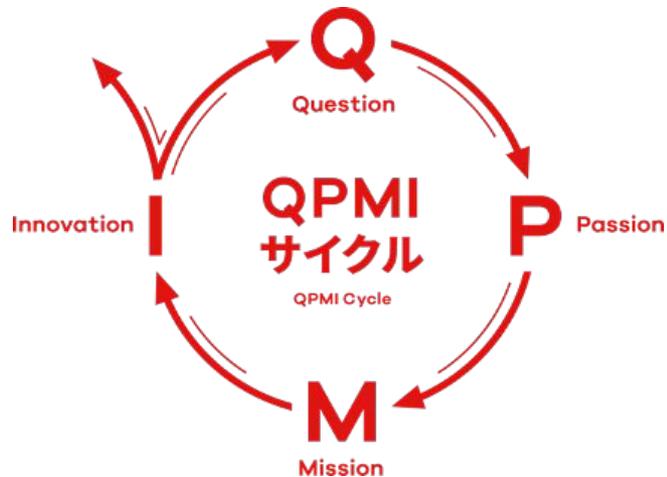
何か「やりたいこと」がある学生

学生向け

今すぐやってみよう。
失敗して成長しよう。

プログラムの特徴 | 組織を超えて新しい価値を創る、2つの概念

イノベーションを生み出すQPMIサイクル



異なるものに橋を架ける
サイエンスブリッジコミュニケーション



QPMIとは、Question、Passion、Mission、Innovationの頭文字を組み合わせたものです。プランを立てなければ始まらないPDCAは役に立たない。「自分が解決したい課題」から始まり、課題を解決したいという強烈な情熱で、諦めずに試行錯誤を繰り返すことで持続可能な形(チーム・事業)を生み出し、結果的に革新や発明が生まれる。

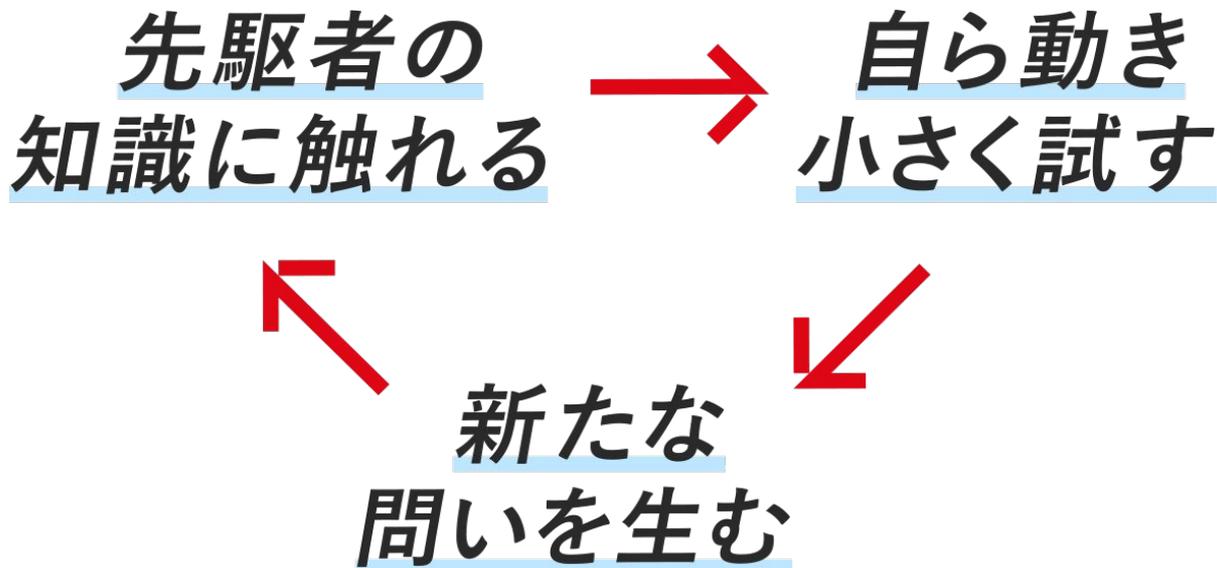
世界を変えるビジネスは、たった1人の「熱」から生まれる。
日本実業出版社



異分野や異業種など、自らとは異なる存在に対して、「共感的コミュニケーション」と「交渉的コミュニケーション」の2つの力で双方の橋渡しを行い(=ブリッジ)、課題解決に資する新たな知識をつくりだすこと。これをリバネスでは「サイエンスブリッジコミュニケーション」と呼んでいます。

誰もが「地球貢献型リーダー」になれる思考法
リバネス出版

プログラムの特徴 | 新たな概念、仮説の実践、組織での自走



先駆者の知識に触れる 📌

多様なディープテックベンチャーのゲスト登壇や事例紹介

→これからの時代に求められる
新たな概念を獲得

自ら動き小さく試す 📌

ディスカッション、プロジェクト等
アウトプット重視のカリキュラム

→自主性が求められる環境で
仮説の実践を経験

新たな問いを生む 📌

課題-仮説-実証-分析-課題…と
いうプロセスを短期間で経験

→そのノウハウを**所属組織に**
持ち帰り自走する

プログラムの特徴 | 「共通の目的意識」と「多様な視点」の相乗効果

カリキュラムの基本構造

講義(新たな概念の習得) + **ゼミ**(新たな概念の実践)

「場」としての特徴

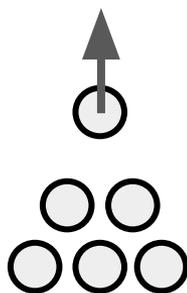
異業種・異分野の受講生 + **アウトプット**の機会
+ **多様なフィードバック**

リバネスユニバーシティーは、「講義+ゼミ」の基本構造によって「学びが腑に落ちる」ことを達成します。また、「課題解決への挑戦」という共通項をもつ異業種・異分野の受講生と共に学ぶことで、多様な視点やアプローチに触れ、自らの思考を加速度的に深化させることが可能です。

プログラムの特徴 | 個人のキャリアアップではなく、組織のリーダーを育成

一般的な人材育成プログラム

個人のキャリアアップが目的



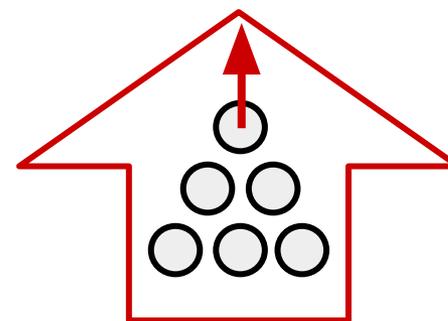
<育成内容>

定型化したスキル／前例のある課題への対応／
トレンドベースの新規事業構想 etc.

- 未知の変化への対応力はスコープ外
- 組織への波及効果が限定的
- 獲得スキルが所属組織にマッチしないことも

リバネスユニバーシティ

組織のリーダー育成が目的



<育成内容>

未知を切り拓くスキル／未解決課題へのマインド／
自社アセット活用前提の新規事業構想 etc.

- 未知の変化への対応力がメインスコープ
- 組織を巻き込む推進力を生み出す
- 組織への持ち帰りを前提にスキルを獲得

成長のプロセス | パッションの認識からプロジェクトビルディングまで

受講生はイノベーターに必要なマインドセットと実践的な経験を一つずつ蓄積し、そのノウハウを着実に身につけます。また、その全プロセスでリバネスが「コミュニケーター」として伴走支援を行います。



成果の一例 | 修了後にプロジェクトを自走

受講生は修了後も社内外のアセットやメンバーをあつめプロジェクトを自走し、プロジェクトデザインを実践する。

生まれたプロジェクト例

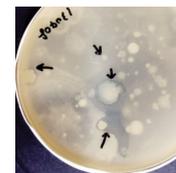
TOKYO PEARLプロジェクト 東京湾の海水で育てたアコヤ貝で、 水質浄化と真珠生産を目指す

株株式会社JR中央線コミュニティデザイン 岡村佳子
株式会社商船三井 古木聡一
清水建設株式会社 笠原万澄
日本ユニシス株式会社 吉越一樹
東日本旅客鉄道株式会社 上田佑斗
株式会社イノカ 高倉葉太(第2回ゲストスピーカー)
株式会社リバネス 海浦航平(コミュニケーター)



銭湯復活プロジェクト 微生物の発酵作用を活用した新たなサウナで、 銭湯コミュニティー復活を目指す

ロート製薬株式会社 柴田久也
株式会社BIOTA 伊藤光平
株式会社アオキシテック 青木圭太
株式会社池田理化 長谷川智幸
株式会社JR東日本商事 小林康人
株式会社リバネス 齊藤想聖(コミュニケーター)



野菜粉末アップサイクルプロジェクト 都市の廃棄野菜を資源化する

株式会社丸井グループ 山中未来
鈴茂器工株式会社 秋田一徳
株式会社グッドイートカンパニー 荒井浩樹
東日本旅客鉄道株式会社 大沼美実子
株式会社リバネス 蔵本齊幸(コミュニケーター)



サステナブルエビプロジェクト 街の食品と工場の残渣からつくる飼料で、 地球にやさしいエビ養殖を実現する

カフェ・カンパニー株式会社 別府大河
DIC株式会社 中熊大英
弁護士法人内田鮫島法律事務所 杉尾雄一
株式会社リバネス 松原尚子(コミュニケーター)
株式会社リバネス 滝野翔大(コミュニケーター)



受講生の内訳 | 大企業、ベンチャー、VC、学生など多種多様な属性

受講生の所属組織(一部抜粋)

アオキシントック、池田理化、内田鮫島法律事務所、カフェ・カンパニー、グッドイートカンパニー、JR東日本商事、清水建設、ジャパンモスファクトリー、商船三井、新菱冷熱工業、鈴茂器工、DIC、東武不動産、長谷虎紡績、広島ベンチャーキャピタル、BIOTA、BIPROGY、プランテックス、丸井グループ、みずほ銀行、三井化学、三井住友銀行、ミネルバ大学、ユーグレナ、ロート製薬 etc.

受講生の声



視座が上がり、異業種との触れ合いが行動変容につながった

ロート製薬 柴田久也さん
(JRE Station カレッジ・エコテックコース)

- ・異業種転職と同じような体験を期待して参加
- ・知識のシャワーを浴びた後は、白熱した議論
- ・新たな考え方、異業種の方との出会いを得た
- ・課題があるなら、飛び込んだ方がいい

[詳しくはこちらから](#)



知識を得るだけでなく、変化を起こすためのスタートライン

広島ベンチャーキャピタル 友重圭雅さん
(QPMIコース)

- ・世の中の課題や、テクノロジーを教えてもらえると思っていた
- ・数日で忘れるテクニックではなく、自走し続けるエンジンが手に入る
- ・自分を語ることで一気に「深く」なる驚き

[詳しくはこちらから](#)



とにかく「やるぞ」という圧倒的環境がある場所

ミネルバ大学 成松紀佳さん
(ブリッジコミュニケーションコース)

- ・自分の時間を「投資する」感覚で集まった異分野の集合体
- ・アイデアソンやインターンシップとの違い
- ・学んだのは「自分が足せる価値はなにか」を問う思考

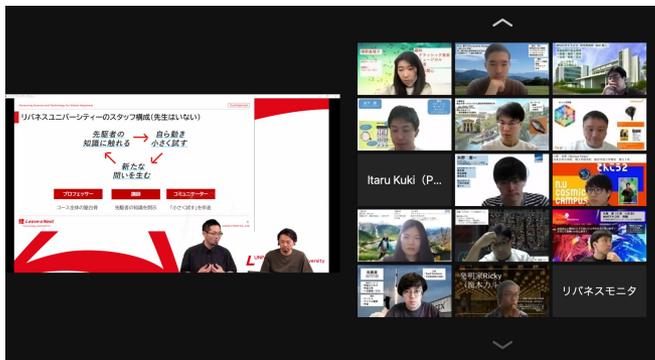
[詳しくはこちらから](#)

プログラム実施の様子

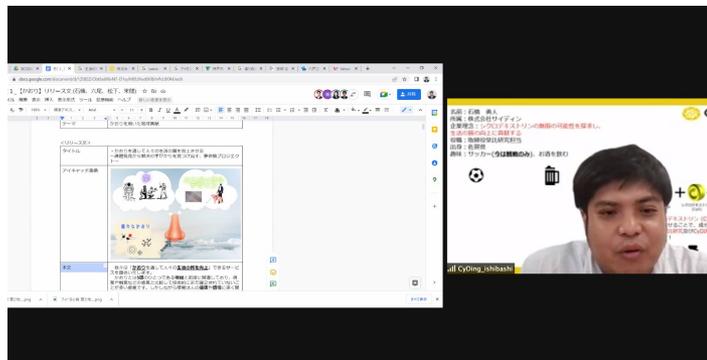
各コースのダイジェストはこちら
<https://univ.lne.st/news/>

オンライン実施コース

講義: 2人のメインスピーカーと受講生での議論



ゼミ: 受講生プレゼンとチームディスカッション



期間中: 活発なコミュニケーション



リアル実施コース

講義: 2人のメインスピーカーと受講生での議論



ゼミ: 受講生プレゼンとチームディスカッション



期間中: 活発なコミュニケーション



リバネスについて | 年間200以上のプロジェクトを創出する研究者集団

リバネスユニバーシティを主催する株式会社リバネスは、全社員が修士号もしくは博士号をもつ研究者集団です(社員数53名 2023年2月時点)。2002年の設立以来、「科学技術の発展と地球貢献を実現する」というビジョンを掲げ、教育・人材・研究・創業の4領域でさまざまなパートナーを巻き込みながら新たな知識を生み出すプロジェクトに取り組んできました。リバネスユニバーシティは、その実践的なノウハウを統合し、外部に向けてオープンに提供する人材育成プログラムです。

プロジェクト創出、ベンチャー支援の実績

プロジェクト創出

研究開発型ベンチャー支援(国内外)

年間 **200** 以上

3,000 以上

お問い合わせ |

- 各コースの内容についてもっと詳しく知りたい。
- 参加した場合の本業とのバランスの取り方など具体的な事例を教えてください。
- どのようなフェーズの社員に適しているかの相談をしたい。

上記のようなご要望がありましたら、
どうぞお気軽にお問い合わせください。
体験会・説明会も随時実施しております

<本件に関するお問合せ先>

株式会社リバネス 楠、 環野

E-mail: info@lne.st



<https://univ.lne.st/>